



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社
コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大枝 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 総務本部広報部長

(氏名) 辻武 幸男

TEL 03-5282-6650

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,078	6.6	5,474	6.2	6,677	6.3	4,221	9.0
25年3月期第1四半期	110,750	2.0	5,156	△24.1	6,279	△19.7	3,871	△15.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 7,064百万円 (492.9%) 25年3月期第1四半期 1,191百万円 (△74.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.99	16.98
25年3月期第1四半期	15.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	450,462	321,459	69.4
25年3月期	461,851	317,436	66.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 312,819百万円 25年3月期 309,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	238,000	7.3	10,300	3.9	11,700	2.0	6,900	1.0	27.77
通期	490,000	7.6	23,700	9.0	26,300	6.3	16,000	16.9	64.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	251,535,448 株	25年3月期	251,535,448 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,046,695 株	25年3月期	3,064,504 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	248,477,891 株	25年3月期1Q	248,472,679 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第1四半期の概況]

当第1四半期につきましては、政府の経済・金融対策等により、一部には景気回復の兆しが見られましたが、円安による輸入原材料価格の上昇や電力料金の値上げ、消費者の低価格志向の継続等、当社を取り巻く環境は依然として厳しいものとなりました。このような中、当社はトップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の取組みを加速し、各事業において積極的な販売促進施策を推進するとともに、海外展開においても本年6月にベトナムのホーチミン市近郊に現地法人を設立し、平成26年秋の稼働予定で調理加工食品の生産工場を建設することを決定しました。なお、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で9.7%引き上げられたことを受け、製品価格の改定を実施しました。

この結果、第1四半期の業績は、売上高は製粉事業及び食品事業の出荷増に加え、M&Aにより取得した海外子会社の連結効果等により1,180億78百万円（前年同期比106.6%）となりました。利益面では、出荷増及び全社的なコスト削減の取組みに加え製粉事業においてふすま価格が堅調に推移したことにより、営業利益は54億74百万円（前年同期比106.2%）、経常利益は66億77百万円（前年同期比106.3%）、四半期純利益は42億21百万円（前年同期比109.0%）となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

製粉事業につきましては、引き続きお客様との関係強化に向け「価値営業」を推進しました。また、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で9.7%引き上げられたことを受け、6月に業務用小麦粉の価格改定を実施しました。積極的な販売促進活動に加え、小麦粉価格改定に伴う需要変動の影響もあり、国内業務用小麦粉の出荷は前年を上回りました。

生産・物流面では、引き続き生産性向上及び固定費削減等のコスト削減の取組みを推進しました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、M&Aにより取得した米国のMiller Milling Company, LLC及びニュージーランドのChampion Flour Milling Ltd.の連結効果に加え、本年1月に生産能力を増強したタイの日清STC製粉㈱の出荷も順調に伸長し、海外事業の売上は前年を上回りました。

この結果、製粉事業の売上高は482億96百万円（前年同期比111.2%）、営業利益は24億50百万円（前年同期比116.3%）となりました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、生活者の個食化、簡便化等のニーズに対応した新製品の投入、WEBを活用した新しい食シーンの提案活動等の積極的な販売促進施策を展開した結果、家庭用、業務用ともに売上は前年を上回りました。中食・惣菜事業につきましては、出荷拡大に向けた取組みを推進し、売上は前年を上回りました。海外事業につきましては、成長を続ける中国・東南アジア市場を中心に新規顧客の獲得に向けた積極的な商品提案に努めたことにより、売上は前年を上回りました。なお、本年6月にベトナムのホーチミン市近郊に新会社Vietnam Nisshin Seifun Co., Ltd.を設立し、平成26年秋の稼働予定で調理加工食品の生産工場建設を決定しました。

酵母・バイオ事業の酵母事業につきましては、イーストの出荷は前年並みとなりましたが、昨年2月に稼働した新工場を活用した総菜の拡販等により、売上は前年を上回りました。バイオ事業は、受託試験等が低調だったことにより、売上は前年を下回りました。

健康食品事業につきましては、医薬品原薬の出荷増に加え、自社通販ルートの消費者向け製品の販売も好調に推移し、売上は前年を上回りました。

この結果、食品事業の売上高は603億74百万円（前年同期比103.7%）、営業利益は25億67百万円（前年同期比104.4%）となりました。

③その他事業

ペットフード事業につきましては、市場が伸び悩む厳しい環境の下、プレミアムペットフードの出荷は堅調だったものの、売上げ全体では前年を下回りました。

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングのほか、受託加工、機器販売も好調に推移し、売上げは前年を上回りました。

メッシュクロス事業につきましては、自動車業界の回復を受けた化成品の伸長等により、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は94億7百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は4億48百万円（前年同期比80.8%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

流動資産は2,058億55百万円で、有価証券が増加しましたが、現金及び預金とたな卸資産の減少などにより、前年度末に比べ126億12百万円減少しました。固定資産は2,446億6百万円で、主に有形固定資産が増加したことにより、前年度末に比べ12億23百万円増加しました。この結果、総資産は4,504億62百万円で前年度末に比べ113億88百万円減少しました。また、流動負債は846億1百万円で、支払手形及び買掛金の減少などにより、前年度末に比べ148億72百万円減少しました。固定負債は444億1百万円で主に繰延税金負債の減少により、前年度末に比べ5億39百万円減少しました。この結果、負債は合計1,290億3百万円で前年度末に比べ154億11百万円減少しました。純資産は四半期純利益による増加と配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の増加などにより、前年度末に比べ40億23百万円増加し、3,214億59百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済は、デフレ脱却へ向けた政策効果等への期待から、一部には明るい兆しも見られますが、一方で、円安を背景とした原材料価格の上昇、及び電力料金の値上げ等のコスト上昇要因、また、平成26年4月に予定される消費増税等、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいことが予想されます。このような状況におきましても、当社は各事業において安全・安心な製品を安定的に供給するとともに、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大に向けて中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」で策定した戦略施策を積極的に実行してまいります。

以上の結果、当年度の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高は4,900億円（前期比107.6%）、営業利益は237億円（前期比109.0%）、経常利益は263億円（前期比106.3%）、当期純利益は160億円（前期比116.9%）としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,722	27,169
受取手形及び売掛金	65,393	68,033
有価証券	19,433	37,278
たな卸資産	61,904	56,825
その他	15,224	16,764
貸倒引当金	△210	△215
流動資産合計	218,468	205,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,651	45,832
機械装置及び運搬具（純額）	29,608	31,180
土地	36,152	36,316
その他（純額）	10,563	9,725
有形固定資産合計	120,975	123,054
無形固定資産		
のれん	4,373	4,541
その他	8,372	8,358
無形固定資産合計	12,746	12,900
投資その他の資産		
投資有価証券	100,643	100,031
その他	9,169	8,766
貸倒引当金	△152	△146
投資その他の資産合計	109,660	108,651
固定資産合計	243,382	244,606
資産合計	461,851	450,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,309	41,870
短期借入金	5,260	6,426
未払法人税等	4,844	2,384
引当金	238	70
未払費用	16,072	13,331
その他	16,749	20,518
流動負債合計	99,474	84,601
固定負債		
長期借入金	3,207	3,270
引当金		
退職給付引当金	18,925	18,935
その他の引当金	1,713	1,653
引当金計	20,638	20,589
繰延税金負債	14,619	14,090
その他	6,474	6,451
固定負債合計	44,940	44,401
負債合計	144,414	129,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	9,460	9,466
利益剰余金	256,453	258,189
自己株式	△3,188	△3,170
株主資本合計	279,843	281,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,894	29,169
繰延ヘッジ損益	148	120
為替換算調整勘定	△833	1,925
その他の包括利益累計額合計	29,209	31,214
新株予約権	232	241
少数株主持分	8,150	8,399
純資産合計	317,436	321,459
負債純資産合計	461,851	450,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	110,750	118,078
売上原価	76,706	81,966
売上総利益	34,043	36,111
販売費及び一般管理費	28,887	30,637
営業利益	5,156	5,474
営業外収益		
受取利息	42	46
受取配当金	765	806
持分法による投資利益	214	135
その他	213	272
営業外収益合計	1,235	1,261
営業外費用		
支払利息	16	33
為替差損	67	—
その他	28	25
営業外費用合計	112	58
経常利益	6,279	6,677
特別利益		
固定資産売却益	95	3
投資有価証券売却益	39	—
負ののれん発生益	—	263
その他	11	—
特別利益合計	146	267
特別損失		
固定資産除却損	122	108
買収関連費用	—	83
訴訟関連費用	—	77
その他	6	—
特別損失合計	128	270
税金等調整前四半期純利益	6,296	6,674
法人税等	2,285	2,232
少数株主損益調整前四半期純利益	4,011	4,442
少数株主利益	139	220
四半期純利益	3,871	4,221

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,011	4,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,763	△731
繰延ヘッジ損益	△152	△31
為替換算調整勘定	1,080	3,269
持分法適用会社に対する持分相当額	16	115
その他の包括利益合計	△2,819	2,622
四半期包括利益	1,191	7,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	730	6,227
少数株主に係る四半期包括利益	461	837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売 上 高							
外部顧客への売上高	43,428	58,204	101,632	9,117	110,750	—	110,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,708	112	4,820	887	5,708	△5,708	—
計	48,136	58,316	106,453	10,004	116,458	△5,708	110,750
セグメント利益	2,105	2,460	4,566	554	5,121	35	5,156

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売 上 高							
外部顧客への売上高	48,296	60,374	108,671	9,407	118,078	—	118,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,003	123	5,126	1,179	6,306	△6,306	—
計	53,299	60,498	113,798	10,586	124,384	△6,306	118,078
セグメント利益	2,450	2,567	5,017	448	5,466	7	5,474

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。